

・【第1回くろいしの保育園保護者説明会】

◆ 日 時 平成21年12月1日（火） 18時30分～

◆ 場 所 くろいしの保育園

◆ 出席者 くろいしの保育園保護者9名

◆ 内容等

市⇒ 市役所

保⇒ 保護者

〔あいさつ〕

市 保健福祉部長の扇田でございます。

保護者の皆様方には、お忙しい中、説明会に出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから、保育園の運営に御協力をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

本日の説明会につきましては、第2次民営化実施計画を去る24日に公表いたしましたことから、できるだけ早く保護者の皆様へ計画内容を御説明申し上げたいとの思いから、案内通知から開催まで、余裕のない日程となってしまったこととお詫び申し上げます。今後は、保護者会の皆様と相談しながら進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

さて、保護者の就労形態の変化などによる、保育ニーズの多様化への対応や、保育所待機児童の解消を図るための保育所定員の拡大などが求められています。このような状況から、民間保育所の持つ機動性や柔軟性を生かして、多様な保育サービスを提供するため、平成18年に「盛岡市立保育所民営化計画・第1次民営化実施計画」を策定し、平成20年度に津志田保育園、21年度になかの保育園の民営化を実施いたしました。民営化を実施した保育所では、定員拡大や2時間延長保育、乳児保育の他、休日保育、一時保育、子育て支援センター等の新たな保育サービスを実施しております。移管後に実施した津志田保育園の保護者アンケートでは、回答者の9割以上が満足であるとの回答を得ていることなどから、順調に経過していると考えております。

この度、平成23年度から27年度までの第2次民営化実施計画を策定し、平成24年度には本宮保育園、平成25年度には飯岡保育園、平成26年度にはくろいしの保育園を民営化することとしたところでございます。本日は、盛岡市立保育所民営化計画「第2次民営化実施計画」につきまして、この後、担当職員から御説明申し上げますが、くろいしの保育園については、乳児保育の実施、定員増、園舎の建替えを考えている。建替えについては、既存園舎の前面への建替えを基本として考えている。

今後におきましても必要に応じて、保護者の皆様へ説明する機会を設けてまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。

〔第2次民営化実施計画の説明〕

市 ここまで説明を行ってきたが、今日参加できなかった方々へも、今日の説明会の内容をまとめたうえで資料を配布したい。

〔質疑応答〕

保 津志田保育園のアンケートで9割が満足しているとのことだったが、残りの1割はどうだったのか。内容を把握しているか。

市 昨年12月に津志田保育園の保護者と対象にアンケートを実施し、回収率はおよそ50%だった。満足していない10%の方は、津志保育園が民営化第1号ということもあり、民営化自体に反対という方がいた。

意見としていただいた内容としては、保育の質ではなく、保護者へのあいさつが少なくなったことや、保護者との会話の時間が減ったことなどについてもう少し考えてほしいという意見が大勢を占めていた。

保 いろいろな事情があって民営化が進められることを知ったが、突然のことでびっくりした。

16ページの5番「10月からさらに移管先法人から保育士が派遣され、各クラスに入り保育を行います」とある。これは、くろいしの保育園のときの担任の先生と一緒に、10月からは2人で保育にあたるということか。また、それは毎日のことなのか、どの程度なのかを聞きたい。

市 第1次民営化を例として具体的に説明する。津志田保育園、なかの保育園についても、くろいしの保育園と同じ定員90人、1歳から5歳までのクラス編成だ。4月に主任保育士1名と、2名の保育士が入り、主任保育士は完全に増員というかたちで保育園全体の保育をみて覚えることをしてもらった。他の2名の保育士は4歳と2歳クラスに入り、前からいる公立保育園の臨時保育士と組みクラス運営にあたった。10月からはさらに法人から3名の保育士が入り、前からいた公立の正規の保育士と組み、半年間は2人体制でクラス運営を行った。

保 15ページQ&Aのところ、「民営化すると保育士の数が減るのでは」「保育所の保育の質は下がるのではないか」とあるが、保護者としてはこの点が一番気になる。保育士の数もちろん大事だが、今のくろいしの保育園保育士を信頼しており、子どもたちも先生方からいろいろなことを学び、深く感謝している。保育士が、がらっと変わってしまうことは、悲しいというのが本当のところだ。民営化後、どのような経験の保育士に変わるのか親として心配だ。

市 移管にあたって、保育士の経験年数など、どのようなことを募集の要件にするかお答えする。園長については、社会福祉業務に従事した経験が5年以上あること、また当然ながら児童福祉に熱意のある方。保育士については、1人以上は10年以上保育の経験を有する方、3分の1以上は5年以上保育の経験を有する方であることを条件としてい

る。経験のある方が多数を占めることを、移管先公募の条件とすることで配慮していく。
保 ということであれば、15 ページに、「保育の質が低いという認識は持っておりません」とあるが、そのような書き方ではなく、今説明のあった公募条件等を明記して欲しい。
市 貴重な意見ありがとうございます。確かに具体的に記載することで、より御理解いただけるという思いがした。改めていく。

保 民間になった場合、20 名の定員増、建物も建替えとのことだが、今の建物の面積や敷地では 20 名増するには狭いのではないかと感じる。土地の面積などから考えて、園児が満足できる園舎を建てることは可能なのか。

法人の公募の条件に、「認可保育所を設置運営している実績」があり、なかの保育園の移管先は市内で私立保育園を運営しているところだと聞いているが、法人が同じということで職員の交流や園同士の交流も生まれるのだろうか。

市 第 1 点目、園舎の建替えについて説明する。

確かに、敷地面積は広いということではないが、今のところ 20 名増、110 名定員を考えた場合、既存園舎の前面側に、園舎としては平屋になるか 2 階建てになるかは移管先法人がどういった提案するかということもあり、まだ未定だが、園舎としての広さは確保できると考える。

既存園舎の面積では、110 名の受け入れは最適基準を満たさない。定員増にあたっては、それに対応できる面積にしていく。

移管先法人についてだが、津志田保育園の場合は、福振会であり川目保育園を運営している。なかの保育園については、移管先法人は本宮福社会であり、台太郎保育園を運営している。

保護者皆様と相談しながら、移管後の津志田保育園やなかの保育園を見学できる機会を設定していきたいと考えている。

人事交流については、今現在は、移管してから間もないこともあり人事交流は行っていないが、法人からは数年後からは人事交流を始めたいと話がある。

保 第 1 次民営化が行われていたときの話だが、「公立の保育士を目指して保育を行っている面もあるから、民営化には不安がある」という私立保育園の意見があったと聞く。引受先となる私立保育園にしても、これまでの経験があるとはいえ、新しい保育士を採用しなければならないとか、新しいやり方をしなければならないなど、負担がかかると思うが、その影響はないのか。

市 市内の法人は保育所 1 園の運営形態がほとんどなので、民営化で引継ぐと 2 園目ということになる。各園では、児童数に応じて保育士を配置しているが、複数園の運営ということで人事交流が可能となる。また、ベテラン職員と新規採用職員とのバランスを図ることも可能となるという意見を既に引継いだ法人の意見として聞いている。

いずれそのあたりは、法人としての考えであって、肝心なのは民営化によって保育そして子供に影響を及ぼさないかが最大の関心事となる。それを解消するためにも、

説明会を開きながら、みなさんの意見を聞きながら、法人も交えながら、不安に感じることをその場で確認しあいながら進めていく。一番大事なのは、今の保育を引継ぐということが基本ということである。

保 移管後の市の関与として、毎週1回訪問指導を行っているとはあるが、これまでの訪問で実際にどのような指導を行ってきたのか。

市 去年1年間、訪問してきた担当としてお答えする。公立園長経験者を採用し、2名で訪問指導を行ってきた。0歳児の保育の仕方や手洗いの方法など細やかな指導を行った。当然、引受先法人のこれまで行ってきた保育というものもあるが、公立の保育を引継ぐことを前提としているため、それに沿った指導を行ってきた。

市 今日第1回目ということで貴重な意見に感謝する。市としては、現行の保育園行事を移管先法人に引継ぐなど、万全を期して望む。今後も必要に応じて説明会を重ねていくので、不明な点や疑問に思ったことなど次回以降の説明会でお話しいただく。また、児童福祉課や保育園にも直接お問合せいただいても構わない。今回の説明会は、発表からできるだけ早い段階で御説明したかったため日程を市で決めたが、次回以降は皆様と御相談のうえ進めていきたい。